

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	科学技術・学術に関する分野横断的な政策の企画立案のための調査		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度・平成22年度		担当課室	計画官付		計画官 阿蘇隆之		
会計区分	一般会計		施策名	VII-4. 科学技術システム改革の先導				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術を一層発展させ、その成果をイノベーションにつなげるため、文部科学省科学技術・学術政策局の所掌事務である「科学技術に関する基本的な政策の企画及び立案並びに推進」、「科学技術に関する研究及び開発に関する計画の作成及び推進」及び「資源の総合的利用に関すること」等に関する調査を機動的に実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①分野横断的な科学技術・学術政策であって、その時点において重要性の高い政策の企画立案に資する調査、②技術者及び研究者等の科学技術系人材、地域科学技術などの分野横断的な研究開発計画の作成に資する調査、③我が国の科学技術・学術政策の企画立案、評価等に必要となる国内外の科学技術・学術政策関連指標に関する調査・分析のうち、毎年度、その時点で重要性・有用性の高い課題を選定して調査を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	59	46	25	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	0	0	0	-	-	
	執行額	59	46	25	-	-		
	執行率(%)	53	40	22	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業では、毎年度、その時点で重要性・有用性の高い課題を複数選定して調査を行うこととしているため、全ての課題に共通した定量的な成果目標は示せない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業では、毎年度、その時点で重要性・有用性の高い課題を複数選定して調査を行うこととしているため、全ての課題に共通した定量的な活動指標は示せない。		活動実績 (当初見込み)	調査の実施数	4	3	2 (2)	- ()
単位当たりコスト	-		(円/ -)	算出根拠	※調査内容に応じて、各年度の調査件数や各調査のコストが大きく変わり得るため、単位当たりコストを算出する目的にはそぐわない。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成21年度の行政事業レビューの指摘事項を踏まえ、平成22年度は事業費を縮減するとともに、平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は「科学技術・学術に関する内外の動向調査・分析等」とともに「政策の企画立案等に必要国内外の動向調査・分析等」へ整理統合した。		
予算監視・効率化チームの所見			
	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
21.6百万円

職員旅費等 0.1百万円 を含む

科学技術を一層発展させ、その成果をイノベーションにつなげるため、科学技術に関する基本的な政策の企画及び立案並びに推進等に関する調査を機動的に実施する。

【一般競争入札・委託】

A 日本食品標準成分表における炭水化物量に関する妥当性検証調査
(財)日本食品分析センター
12.1百万円

一部食品について試験的に炭水化物を構成する主要な糖質組成等を直接分析して炭水化物量の収載値と比較検証することにより、日本食品標準成分表改訂に係る検証作業の基礎資料として活用する。

【一般競争入札・委託】

B 産学連携活動に従事している研究者に関する調査
(株)三菱総合研究所
9.5百万円

産学連携従事者の裾野を広げ、また産学連携活動の深化を促すため、産学連携活動の経験が豊富な研究者に加え、若手研究者や産学連携活動の浅い研究者の産学連携活動及びその支援活動に対する認識を把握する。

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. (財)日本食品分析センター			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者	5.1			
実務実施費	消耗品費、国内旅費、印刷製本費、借損料、消費税相当額	4.9			
一般管理費		2.0			
計		12.1	計		0
B. (株)三菱総合研究所			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員	5.9			
業務実施費	消耗品費、印刷製本費、雑役務費、消費税相当額	2.3			
一般管理費		1.2			
計		9.5	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本食品分析センター	日本食品標準成分表における炭水化物量に関する妥当性検証調査	12.1	1	98.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	産学連携活動に従事している研究者に関する調査	9.5	4	80.0
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					